

知ってほしい私たちの取り組み

特別養護老人ホーム 谷茶の丘 雅

「ベトナム人留学生の受け入れについて」

施設サービス課課長 上運天 正

近隣の介護事業所が増えて、私たちの介護現場も人材確保が難しくなり始めたところ、厚労省の「外国人技能実習生制度」の話を聞いて絶望の思いで玉城所長（前）山内副所長へ相談して受け入れに向けた準備が始まりました。

途中、新型コロナウイルスの世界的パンデミックの影響で、実習生は3年間入国することができませんでした。ようやく今年の7月7日に沖縄へ到着し、翌7月8日に晴れて谷茶の丘 雅で入社式を迎えることができました。

実習生受け入れの経過について、簡単ですがご報告させていただきます。

令和1年6月25日～28日、受け入れる実習生を決めるために、職員が3泊4日でベトナムまで行き、多くの候補者から3名の方が決まりました。



右から山内雅之（前副所長）、ダン・ヴァン・マインさん、グエン・クオック・クオンさん、グエン・ヒユ・ナムさん、上運天正（施設サービス課長）

この時実際には9名の方と面接をしました。その誰もが、実習に臨む動機について「お金を貯めるために日本で働きたい。」とはっきりと答えました。みな家族のために、人生をかけて面接にのぞんでおり、その意気込みにはこちらも圧倒されました。

外国人介護実習生は、他の職種とは異なり、日本に入国する前に日本語能力試験レベル（難しい順にN1～5内まで区分）の内の「N4」（＝基本的な日本語を理解することができるレベル。基本的な語彙や漢字を使って書かれた文章や、ゆっくり話す会話であればほぼ理解できる）の日本語を習得する必要があります。その為に、まずベトナム

で4ヶ月から6ヶ月間、日本語の勉強をします。もし能力試験に不合格だと合格するまでは日本へ入国することができません。そして、試験合格後に入国ビザを申請して取得するまでに、4ヶ月程かかるため、日本へ入国するまでには、スムーズにいくとも8ヶ月、長ければ10ヶ月ほど掛かります。

日本へ入国してからは、更に約2ヶ月間、沖縄県内の語学学校「浦添TOYO共同組合（トリアルアイ学習塾）」へ通って日本語と介護の基本的な技術を学びます（この期間も他の職種と比べると約2倍あります）。また同時に沖縄の文化、風習、交通ルール、ゴミの出し方などの日常生活をする上でのルールを身につけます。

ここまでのハードルを乗り越えて、谷茶の丘 雅での実習が始まっています。

入国して1年後、実習開始から10ヶ月後に、基本的な介護技術と日本語能力試験レベル「N3」（＝日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができるレベル。日常的な話題の文章を読んで理解できる。自然に近いスピートの会話を理解できる）の試験があります。



「入社式」の様子、職員皆で温かく受け入れました

もしこれらの試験に合格できなければ、この時点で帰国しなければいけません。

私たちの受け入れはまだ始まったばかりですが、これからもお互いの理解を深めながら、少しでも早く日本になじみ、私たちと一緒に長く働いて頂けるように支援していきたいと思えます。

「大名デイサービスフレンド」の取り組み

平成19年3月末に那覇市松島の環状2号線沿いに開設して、今年で15年が経ちました。

定員はその間当初の35名から40名に増員しましたが、お陰様で定員を充足することができています。

法人内の他通所事業所と比較すると、ご利用者は軽度～中度（要介護2程度まで）の方が多く状況となっています。

開設当初から、生涯学習としての趣味活動・生きがいづくりを目的としたサークル活動の充実を力を入れており、外部講師の方の力もお借りしながら曜日別にサークル活動をおこなっています。

サークルの種類は、「三線、琉球舞踊、大正琴、書道、ペン習字、手工芸」の計6つです。

新型コロナウイルスの影響を受けるまでは、毎年3月にご利用者のご家族や地域の皆様を招待して、サークル活動の発表の機会として「フレンドふるじまサークル発表会」を開催していました。ご利用者もそれを励みに活動

に取り組みまれて達成感や自信につながったり、ご家族からも「デイスサービスでこんなことをしているのか分かって良かった」「デイスサービスのことを話題にして家族での会話の機会が増えた」等ご好評をいただいています。

またフットマッサージ・オイルマッサージ（新型コロナウイルスの影響で現在休止中）は、エステティシャンとしての勤務経験のある職員からの発案で始まり、直接肌に触れてマッサージをおこなうことで、精神的にもリラックスして、デイスが安心して過ごせる場所となり、職員との信頼関係を深めてくれる効果もあります。

また事業所の建物の2階が保育園（社福）がじまるの樹福祉会メルシー保育園様となつていて、ことから、合同での避難訓練やクリスマス会等への招待の交流があったり、松島自治会に加入して敬老会等の行事へ参加したりと、地域との交流があります。こちらも現在は新型コロナウイルスの影響により制限されている状況です。

母体の特別養護老人ホームから離れた、単独の事業所ではありますが、これからも事業所の立地を含めた特徴をいかしながら、デイスを提供していきたいように頑張ります。



環状2号線那覇市立病院近くの緑の看板が目印です

サークル活動の様子

特別養護老人ホーム「谷茶の丘」第14回フレンドふるじま